

施策17 生涯にわたる健康づくりの推進

作成日：平成22年6月30日														主管課名：生活福祉部国保年金課				
№	施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の21年度目標達成度とその要因	施策の総評価 (18年度から21年度までの達成状況)
17	生涯にわたる健康づくりの推進	国保年金課	①市民	①人口(17年3月末住民基本台帳人口+外国人登録人口)	①生涯にわたって心身ともに健康を保持する	①自分は健康であると感じる市民の割合	52.6	51.1	53.3	56.6	%	成 51.0	成 51.0	市民アンケート	国保年金課	・H21市民意識調査(問16) あなたは、市の健康管理に関する施策や、自分の健康状態などについて、日頃、どのように感じていますか？→②自分は健康であると感じている→そう思う 18.3% →どちらかといえばそう思う 38.3%	成果指標は増加傾向にあり、徐々にではあるが健康づくり施策の成果が向上していると考えられる。 ①自分は健康であると感じる市民の割合は56.6%と21年度目標値を下回っている。 ②日頃、健康増進のために何か取り組んでいる市民の割合は87.7%と非常に高い水準にあり、21年度目標値を上回っている。 参考) 市民意識調査では、かかりつけの病院や薬局がある54.1%、食事に気をつけている47.6%、定期的に健康診断を受けている48.3%、健康増進のために運動をしている24.2%となっており、比較的高い割合を示している。	①「自分は健康であると感じる市民の割合」は若干目標値を下回っているが、「日頃、健康増進のために何か取り組んでいる市民の割合」非常に高い水準にあり、21年度目標値を上回っている。いずれの成果指標も増加傾向にあり、徐々にではあるが健康づくり施策の成果が向上していると考えられる。 ②保健・予防の充実では、感染症予防事業における各種ワクチン接種事業やがん検診など検診事業の受診率向上を図り、早期発見・早期治療によって市民の健康管理向上に努めた。特に、健康増進事業においては、女性特有のがん検診推進事業の無料クーポン券の配布など事業拡大も実施しながら受診率の向上に努めた。 ③医療体制の充実では、平成19年度に県立大船渡病院医療体制充実対策協議会を設置し、常勤医が不在となっている診療科への常勤医師配置要望や救命救急センターの適正利用周知活動などを実施し、こうした取り組みを通じ、循環器内科や産婦人科への医師配置の充実などが図られた。 ④診療所運営事業においては、平成21年度において吉浜診療所医師の義務履行期間が終了するもとで、後任医師を無事招聘することができた。また、綾里診療所・歯科診療所の改築事業を始め、越喜来診療所、吉浜診療所においても計画的な診療器材の更新なども実施しながら地域の健康づくりの拠点として機能充実に努めてきた。 ⑤保健介護センターにおいても長年利用者から要望が強かった駐車場整備を平成21年度に実施するなど、利用環境の充実に努めている。 健康づくりの成果指標が徐々にではあるが向上していることから順調に推移していると考えられる。
						②日頃、健康増進のために何か取り組んでいる市民の割合	92.5	91.4	93.3	87.7	%	成 82.0	成 82.0				市民アンケート	

№	基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値(H18)	実績値(H19)	実績値(H20)	実績値(H21)	単位			取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1	保健・予防活動の充実	国保年金課	①市民	①人口	①健康に気をつけてもらう	①希望者に対する循環器健診受診率	60.4	58.1	※H20特定検診に移行	※H20特定検診に移行	%			業務取得	国保年金課	※制度が変わったため、指標の再設定が必要。 大船渡市健康づくり推進会議資料より抜粋((4) 成人病検診)	①循環器健診について、平成19年度までは市が希望者に対して実施していたが、平成20年度から各医療保険者が実施主体となる40歳以上の者を対象とした特定健診が義務付けされたため、受診率並びに要指導の割合及び要医療の割合は算定不能である。 ②日頃から意識して運動していると答えた市民の割合は24.2%と対前年比でやや減少している。 ③食事に気をつけていると答えた市民の割合は47.6%で、前年度より5.7ポイント低くなっている。 ⇒日頃からの運動や食事に気をつけている割合は高齢者のほうが若い年代よりも多くなっている。	・保健事業 ⇒検診について、平成21年度における対象者に対する受診率は、胃がん検診35歳以上6.7%、肺がん検診16.2%、子宮がん検診34.0%、大腸がん検診24.2%となっている。 健康相談は1,042人から受けており、年々増加傾向にある。 また、年間を通じた健康教育に関しては、参加者数が延べ(217回) 5,117人となっており、市民の健康確保を図っている。
						②循環器健診における要指導の割合	31.9	32.8	※H20特定検診に移行	※H20特定検診に移行	%			業務取得	国保年金課	※制度が変わったため、指標の再設定が必要。 大船渡市健康づくり推進会議資料より抜粋((2) 成人保健事業)		
						循環器健診における要医療の割合	62.1	61.9			%			業務取得	国保年金課	※制度が変わったため、指標の再設定が必要。		
						③日頃から意識して運動していると答えた市民の割合	29.0	25.9	27.5	24.2	%			市民アンケート	国保年金課	・H21市民意識調査で取得(問17) あなたは、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？→3. 健康増進のため意識的に運動している (24.2 %)		
						④食事に気をつけていると答えた市民の割合	56.9	52.8	53.3	47.6	%			市民アンケート	国保年金課	・H21市民意識調査(問17) あなたの、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？→4. 食事に気をつけている (47.6%)		
2	地域医療体制の充実	国保年金課	①市民	①人口	①早期に適切な医療が受けられる	①かかりつけの病院や薬局があると答えた市民の割合	56.6	57.9	59.0	54.1	%			市民アンケート	国保年金課	・H21市民意識調査(問17) あなたの、日常生活の中で、取り組んでいることはありますか？→2. かかりつけの病院や薬局がある (54.1%)	①かかりつけの病院や薬局があると答えた市民の割合は54.1%と半数以上の市民が「かかりつけ医や薬局を決めている」と答え、高い水準となっている。 ②医療体制が整っていると感じる市民の割合は11.0%と増加傾向である。 ⇒平成21年度末現在、市内の開業一般診療所数(直営診療所は除く)は20医院、歯科診療所数は16歯科医院となっており、国民健康保険診療所としては3医科診療所および1歯科診療所がある	・在宅当番医制運営事業 ⇒休日における在宅当番医制での診療日数 73日(内科・外科 管内1,641人) 在宅歯科当番医制(管内282人) ・(綾里、越喜来、吉浜、歯科)診療所運営事業 ⇒各診療所ごとの21年度延べ患者数は、綾里診療所3,707人、越喜来診療所12,675人、吉浜診療所4,022人、(綾里)歯科診療所4,267人であった。 ・綾里診療所・歯科診療所改築事業 ⇒昭和38年に建てられた既存施設を改築するために総事業費124,240千円で、平成22年4月から新施設での診療が開始された。 ・市町村医師養成事業 ⇒県が実施する医師養成事業へ費用負担する事業で、平成20年度から34年度までの15年間の事業である。平成21年4月からこの貸付事業の対象者1名が県立大船渡病院の研修医として勤務しており、当市の地域医療を確保する上でも有効な事業となっている。
						②医療体制が整っていると感じる市民の割合	9.1	6.9	8.2	11.0	%			市民アンケート	国保年金課	・H21市民意識調査で取得(問2) 大船渡市らしさや魅力をどのように感じますか。9 医療体制が整っている →そう思う (11.0%)		